

令和4年6月10日

北海道大学地域水産業共創センターにおける教員（教授）の公募について

北海道大学大学院水産科学研究院では、下記の要領により教員（教授）を公募します。

1. 公募人員：教授1名（任期の定め有り）
2. 任期：採用日から令和9年8月31日まで（任期更新なし）
3. 所属：大学院水産科学研究院
令和4年10月1日以降は、新たに設置予定の「地域水産業共創センター（下記5参照）」に配置予定。
4. 勤務地：北海道大学函館キャンパス
5. 職務内容：
地域水産業共創センターは、水産業にかかる社会共創に関し、自治体、企業、漁業協同組合・漁業者など地域の多様なステークホルダーと大学との協働による水産業分野における新産業創出や人材育成に貢献するためのハブとなる組織である
そのため、大学が地域のシンクタンクの役割を果たすための橋渡し役として、漁業・養殖業、利用加工、マーケティング、リカレント教育等の幅広い知見、自治体・企業・漁業者等との連携に関する豊富な経験、高等教育レベルの教育実績を有することが望まれる
なお、地域水産業共創センターが担う業務の詳細は、別添資料を参照のこと
6. 主な担当授業科目：
 - (1) 地域水産業共創センターが提供するCREEN人材育成カリキュラムに関連する科目（講義、実験、演習等）
 - (2) 大学院水産科学院における社会共創に関する科目（講義、実験、演習等）
 - (3) 水産学部における社会共創に関する科目（講義、実験、演習等）
7. 応募資格：
 - (1) 博士の学位を有すること（水産学に関する学位が望ましい）
 - (2) 優れた研究業績を有すること
 - (3) 産官学連携に関する実績を有すること
 - (4) 業務遂行に支障のないレベルの日本語及び英語の能力があること
8. 採用予定日：令和4年9月1日以降のできるだけ早い日
9. 試用期間：あり（3ヶ月）
10. 給与：国立大学法人 北海道大学年俸制教員給与規程による
(https://www.hokudai.ac.jp/jimuk/reiki/reiki_honbun/u010RG00000455.html)
11. 勤務形態：専門業務型裁量労働制を適用（1日に7時間45分労働したものとみなす）
12. 健康保険等：文部科学省共済組合、厚生年金、労災保険、雇用保険加入
13. 募集者の名称：国立大学法人 北海道大学

1 4. 受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙

1 5. 応募書類（各 1 部、様式任意、PDF 等のファイルを記憶媒体に収めて提出することも可）

- (1) 履歴書（書式任意、ただし氏名、生年月日、現住所、連絡先、顔写真、高等学校卒業からの学歴、職歴、受賞歴、学位名、学位取得機関、学位取得年月と学位論文題名を記載すること）
- (2) 研究分野に関する業績の解説（2000字程度。研究に関連する外部資金獲得がある場合にはそのリストを添えること）
- (3) 産官学連携に関する実績の証拠となる書類等（新聞記事、HP、報告書等、コピー可）
- (4) 共創センターの運営及び教育・研究に関する抱負（2000字程度）
- (5) 教育業績一覧（講義、実験、実習等の担当歴、大学院生の研究指導歴、社会における教育普及活動等を記載）
- (6) 研究業績一覧（原著論文（審査制の有無に応じて区別）、著書、総説、特許、シンポジウム等における発表、その他の項目に分けて記載）
- (7) 研究業績別刷
- (8) その他の業績一覧（大学、学会、社会における活動、その他特記すべき事項を記載）
- (9) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、職名及び連絡先

1 6. 応募期限：令和 4 年 7 月 8 日（金）午後 5 時 必着

1 7. 応募書類提出先：

〒041-8611 北海道函館市港町 3 丁目 1 - 1

北海道大学 大学院水産科学研究院 教員選考委員会 委員長 藤森康澄

* 封筒表面に「教員応募（地域水産業共創センター教授）」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。

応募書類は返却しません。なお、応募書類に含まれる個人情報は、選考目的以外には使用しません

* 教員選考委員会による応募者の面接及び追加書類の提出を求める場合があります。ただし、面接に要する旅費は支給しません。なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、面接はオンラインで実施する可能性もあります

1 8. 問い合わせ先：

〒041-8611 北海道函館市港町 3 丁目 1 - 1

北海道大学 大学院水産科学研究院 教授 藤森康澄

TEL：0138-40-8829 Eメール：fujimori AT fish.hokudai.ac.jp（メール送付時には AT を@に置き換えてください）

* 本研究院に関する詳細はホームページ<https://www2.fish.hokudai.ac.jp/>をご覧ください

地域企業・団体



自治体・地域社会



国内・海外
企業・団体



地域水産業共創センター



地域教育研究
機関 (北大含む)



国内・海外
教育研究機関



“ハブ”として機能

知の拠点・地域のシンクタンク

水産科学研究所・水産科学院・水産学部 



北海道大学函館キャンパス 地域水産業共創センター 概要（詳細）

北海道大学は、第4期中期目標期間（令和4～9年度の6年間）に達成すべき6つのビジョンを掲げており、そのひとつである「繋がる・広がる連携の北大」では、“社会連携を格段に進化させ、起業や地域創成を通じて、脱炭素・包摂的社会の構築に向けた社会変革の主要なプレーヤーとしての役割を果たす”ことが示されている。

函館キャンパスに設置する地域水産業共創センターは、「繋がる・広がる連携の北大」というビジョン達成に貢献するため、次のような役割を持った組織となる。

① 教育研究・社会連携をコーディネート

（主な業務内容）

大型プロジェクト・共同研究等形成支援、起業支援、アントレプレナーシップ教育、E S G対応

② 地域・企業等のワンストップ窓口

（主な業務内容）

研究成果等に関する取材窓口、公開講座・市民講座等の各種イベント対応、ファンドレイジング、教育研究シーズ把握

③ 函館キャンパスの教育研究をサポート

（主な業務内容）

科学研究費補助金等の獲得支援、特許・ライセンス等の橋渡し、教職員向け各種セミナー等の開催

また、組織の人員体制は次のとおり。

社会実装部：専任教授（公募対象）、産学協働コーディネーター（公募予定）、U R A（兼務）、特定専門職員（公募中）

教育企画部：本学教員（兼務）、他機関教員等、国内外招へい教員等、研究開発部課題リーダー

研究開発部：本学教員（兼務）、若手研究者（ポスドク等）、他機関教員等、企業技術者、国内外招へい教員等